**検討の観点と内容の特色**

『政治・経済』（104数研　政経/705）

（１）内容

・政治・経済に求められる最新の事象についてだけでなく，政治・経済の諸問題の歴史的背景にもふれながらわかりやすく記述されている。

・現代の政治や経済が抱えている基本的問題を，生徒が自分自身の頭で考える力を養えるだけでなく，社会に対して主体的に寄与しようとする態度も育成できるように配慮されている。

・本文のより深い理解が可能なように，多くの副文や脚注が設けられ，さらに参照ページも多く付されているので，他の項目との有機的な学習ができる。

・「Thinking Time」のページに「考えてみよう」のコーナーが配置され，思考力・表現力を養う機会が設けられている。

（２）構成・分量

・3つの章で構成。章の下は節→項目と段階分けしてある。

・各章では，政治，経済，国際社会についての十分な知識を習得でき，それらの知識を活用しながら，各章末の「Thinking Time」で現代社会の諸課題を探究できるように構成されている。

・「Thinking Time」のほかにも，ある話題について深く掘り下げるコラム「CLOSE-UP」が用意されている。

（３）表記・表現及び使用上の便宜

・カラーユニバーサルデザインに配慮され，見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォント（UD フォント）が使用されている。

・生徒が自分自身で考えるきっかけとなるよう，各項目にはその項目の主要テーマについての「問いかけ」が設けられている。

・本文に書かれている最新の事象や歴史的な背景について，その裏付けとなるような図・写真・資料などがほぼ毎ページにとりいれられているので，教科書だけでも授業を進めることができる。

・各節の冒頭などに「二次元コード」が掲載され，関連するサイトや動画へのリンク，学習理解度を確認する「確認テスト」のページにアクセスできるようになっている。

（４）その他

・本文以外では，図・グラフ・写真だけでなく，学習を深めるための文献資料や判例，副文が豊富に掲載されており，進度に応じた授業展開がしやすいように工夫されている。

・巻末資料として日本国憲法をはじめ，民法など社会での暮らしに関連する法令が掲載されている。

・口絵や各章はじめで興味づけができるように工夫されている。